

# 標的の村 & 高江一森が泣いている 上映会



11月23日(水・祝)

会場：茨木市民総合センター  
(クリエイトセンター)  
多目的ホール

上映時間：1回目 10時～  
2回目 14時～  
3回目 18時～

料金：前売 800円 (当日1,000円)

内容：「標的の村」上映 (91分)  
「高江一森が泣いている」上映 (64分)  
沖縄ツアー報告  
沖縄・改憲緊急署名の提起



主 催 平和と民主主義をめざす全国交歓会 (ZENKO)

共 催 憲法いかそう茨木市民の会

連絡先 090-2044-4541 (タナカ)

H P <http://www.zenko-peace.com>

# 今、沖縄の“真実”を知ってください

沖縄の東村高江ではオスプレイパッドの建設が暴力的に進められています。全国から 500 人機動隊が派遣され、何の法的根拠もないまま県道封鎖、抗議する市民の排除、自衛隊ヘリによる重機搬送、森林伐採などが行われています。まさに戒厳令であり、改憲の先取りです。

今秋の臨時国会は戦後初めて、衆参両院で憲法改正を容認する勢力が3分の2を超え、「改憲」を巡る議論が現実味を帯びてきました。自民党の憲法改正草案は現憲法の三大原則である「国民主権」、「基本的人権の尊重」、「平和主義」を全面的に変えようとする非常に危険なものです。

また昨年、強行採決された戦争法を適用し、11月の南スーダンへの自衛隊派遣に「駆けつけ警護」等の任務を追加しようとしています。殺し、殺される事態が危険性が高まっています。戦争のための基地建設阻止、そして改憲を許さないため、沖縄の真実に目を向けて下さい。



## 標的の村

(2013年 / 日本 / 91分)  
監督: 三上智恵



(C) 琉球朝日放送

日本にあるアメリカ軍基地・専用施設の 74% が密集する沖縄。5 年前、新型輸送機「オスプレイ」着陸帯建設に反対し座り込んだ東村（ひがしそん）・高江の住民を国は「通行妨害」で訴えた。反対運動を委縮させる SLAPP 裁判だ。わがもの顔で飛び回る米軍のヘリ。自分たちは「標的」なのかと憤る住民たちに、かつてベトナム戦争時に造られたベトナム村の記憶がよみがえる。10 万人が結集した県民大会の直後、日本政府は電話一本で県に「オスプレイ」配備を通達。そして、ついに沖縄の怒りが爆発した。

2012 年 9 月 29 日、強硬配備前夜。台風 17 号の暴風の中、人々はアメリカ軍普天間基地ゲート前に身を投げ出し、車を並べ、22 時間にわたってこれを完全封鎖したのだ。この前代未聞の出来事の一部始終を地元テレビ局・琉球朝日放送の報道クルーたちが記録していた。真っ先に座り込んだのは、あの沖縄戦や米軍統治下の苦しみを知る老人たちだった。強制排除に乗り出した警察との激しい衝突。闘いの最中に響く、歌。駆け付けたジャーナリストさえもが排除されていく。そんな日本人同士の争いを見下ろす若い米兵たち……。

本作があぶりだそうとするのは、さらにその向こうにいる何者かだ。復帰後 40 年経つてなお切りひろげられる沖縄の傷。沖縄の人々は一体誰と戦っているのか。抵抗むなしく、絶望する大人たちの傍らで 11 才の少女が言う。「お父さんとお母さんが頑張れなくなったら、私が引き継いでいく。私は高江をあきらめない」。奪われた土地と海と空と引き換えに、私たち日本人は何を欲しているのか？

## 高江一森が泣いている

(2016年 / 日本 / 64分)  
監督: 藤本幸久、影山あさ子

辺野古と高江と普天間は、ひと続きのものだ。普天間基地に配備されたオスプレイは、高江で訓練する。新基地が出来れば、辺野古から飛び立ち、高江で訓練をする。すべては、次の戦争のための準備だ。

7 月 10 日の参議院選挙の翌朝、数百名の機動隊に守られて、工事用資材の搬入が始まった。7 月 22 日早朝から、警察・機動隊が県道を 10 時間にわたり封鎖。機動隊の壁を作り、市民と車両を力ずくで排除、抗議行動の拠点となっていたテントを破壊した。

沖縄県警、東京の警視庁、千葉県警、神奈川県警、愛知県警、大阪府警、福岡県警……全国から動員された 500 名の機動隊による激しい暴力。この日、3人が救急搬送された。

高江は今、戒厳令状態だ。留まり続ける数百名の機動隊による排除が繰り返され、県道を封鎖し、毎日、トラック 10 台分の砂利が運び込まれている。工事を少しでも遅らせようと、市民の阻止行動も続いている。

今、高江で起きていることは、これから日本全国で起きることの序章なのかもしれない。500 名の機動隊導入も、「緊急事態条項」を先取りするかのようだ。9 月 16 日には、国が翁長知事を訴えた辺野古埋立承認取消違法確認訴訟の判決が出る。国が勝訴すれば、辺野古の工事も、また始まるだろう。力ずくで沖縄の民意を圧殺しようとしている安倍政権、抵抗を続ける県民たち。

高江を今、ぜひ映画で見て欲しい。

